

XXXX様

ご息災でしょうか？

世間は不条理だらけで、

何が本当なのか？

わからない世の中になった。

と、お嘆きの夏と拝察します。

自分の体験こそ全て。

真実は自分の中にしかない。

それで十分だと思いませんか？

「心と意識と」

これはNetflixで最近公開された、

「娯楽ドキュメンタリー映画」

のタイトルです。

この1年で観た映画の中で一番

良かった。最高にお勧めです。

Netflix会員の方は是非ご覧ください。



4本のシリーズで、2本だけ観た。

幻覚剤、LSDや幻覚キノコなど、

植物由来の「幻覚剤」がテーマ。

一話目をネタバレさせて頂く。

中毒性がなく無害らしい。

信用おける映像付きの科学的

エピソードを満載している。

LSDとは？

ライ麦に寄生する麦角菌を分離

25回目で偶然成功した幻覚剤。

1966年に禁止になるまで、

4万人の被験者。

国際会議は6回開催された。

スタンフォード大学では1960年

だけで論文数200。

100μg接種の被験者

48人全員の問題に関わる

効果をあげた。

中毒性がない事の確認と、

心を開き無防備になるので、困難な

問題に向き合えたという事を

確認できた。

シリコンバレーの開発者の

想像力をブーストしたのは

LSDだったのではないか？

という証言も。

例えば、

マウスの発明者。

スティーブ・ジョブス（アップル創業者）

「一番ではないが一番に近い貴重な体験」

キャリー・マリス博士

LSDでDNA増幅のPCRを発明

「PCRはLSDでキメた時に発明」

と証言

リスクは強度の統合失調症患者は

精神障害が悪化する(一時的かも)

ガイドが必要との事。

覚醒剤と違い、幻覚剤は中毒性が
ないらしく、八時間もすれば元通り。

らしい。

私は違法であれば決して行わないが、
とても興味を持った。

LSD発見者ホフマン博士

曰く、(2006年地点で100歳)

原爆の発見と同じ年1943年

に奇しくも発見された？

の質問に対し、

「偶然はないのだろう」

ホフマン博士が続ける。

「原爆に対しての普通の爆弾。

LSDに対して酒。爆発力も

一致している」

LSDは、

頭と意識の原子爆弾らしい。

この映画は科学的だ。

ハーバード大やスタンフォード大

だけでなく、イエール大他

多数のDr.や患者、

CIAでの実験フィルムなど、

科学的な検証動画を紹介している。

ハーバード大のメアリー博士は、

最初の体験時(貴重なフィルムも

挿入してある)

目を閉じるように言われ、ビデオが

回されていた。

「綺麗な水の揺らぎの

ような美しいものを見続け、

ここにずっと浸っていたい。

あなたにはわからないだろう。」

と涙を流し感動した。

「ハーバードでの研究をたった

4時間の体験が上回った。」

と語り、研究にのめり込んだ。

英国人医師も(名前失念)

「これは悪くない。良すぎる。」

という事で、二人は

アルコール中毒患者の断酒など

に成功した例も映画に挿入され、

当時のメディアに

精神医学を変えると

多く掲載された。

心理学者

Dr.ジェームス ファディマン

「自分の長所や欠点も大きな存在の

一部と気がついた。

大きな存在は全てと結びつく。」

即ち癒しである。と。

精神科医Dr.リチャード アルパート

「人は神の一部だと確信できる。」

この二人は、米国で初めてLSDの

素晴らしさを訴えたDr.メアリーの

伝道者としてハーバード大学から

スパınアウトした。実際追放されたが、

追放後、アルパートはインド

哲学伝道者へ。

なぜ追放、そして禁止されたか？

背景がベトナム戦争だった事

だろう。LSD接種者が戦争

反対運動を起こしたからだ。

何より、CIAがLSDの実験を

行った事の失敗が大きい。

被験者、つまり人間モルモットは、

LSDを接種すると軍隊の整列さえ

笑ってできなくなり、(映像あり)

軍からもCIAからも、

どんどん人が離れて

いってしまった。

国の大失態である。

その後政府とCIAは、反LSDに

動き、科学を捏造したと思う。

実際映画でも捏造記事と紹介

していた。

危ないもので、知的ではない。

ドナルド・レーガン

先ずカルフォルニア州で禁止。

1966年(?)にニクソンが連邦

で禁止。しかも研究も禁止。

科学を禁止した大失態だと

私は思った。

発見者ホフマン博士は、

アメリカに渡りセンセーショナル

になった事で、禁止になり

落胆したが、

2006年

LSDとホフマンの100歳を祝う

式典がベルンで行われた。

多くの国で禁止薬物で

犯罪となった幻覚剤だから、

冒頭わざわざ「娯楽動画」と

テロップをつけているが、

ドイツやスイスなど

ごく一部の施設で臨床が再開

されたことは歓迎すべきと

思った。

そもそも人の目は通常

一点集中型。しかし覚醒という

のはあらゆる角度や視座で、

映画を引用すれば「ランタン型」

に全方向で事象ををとらえ、

認識のレベルがあがる事。

覚醒という言葉は、

むしろ良い言葉とされているのに、

覚醒剤は害の方が大きいだろう。

幻想ときけば、誰もが

やばいと思えるし、

LSDときいて悪いものと

「思考停止」に陥っている方が

ほとんど全員であろう。

私もそうだった。

しかし覆ったのだ。

この映画を観て、

「豆腐」と「納豆」

の間違った漢字の輸入に

ついて類似性を感じた。

ご存じの方も多いだろうが、

よく漢字をみてください。

大豆を腐らせるのは豆腐ですね？

大豆を粹に納めて納豆ですね？

つまり、有名人の名前が

山本さんだとします。

山本さんを山下さんと間違えたら

大問題で、訂正しますね？

豆腐も納豆も有名人です。

誰も訂正せず、使用を続けている。

各々の食品に大変失礼な話ではないか？

だから、覚醒剤は幻覚剤へ、

幻覚剤(LSD)を覚醒剤に改めよ

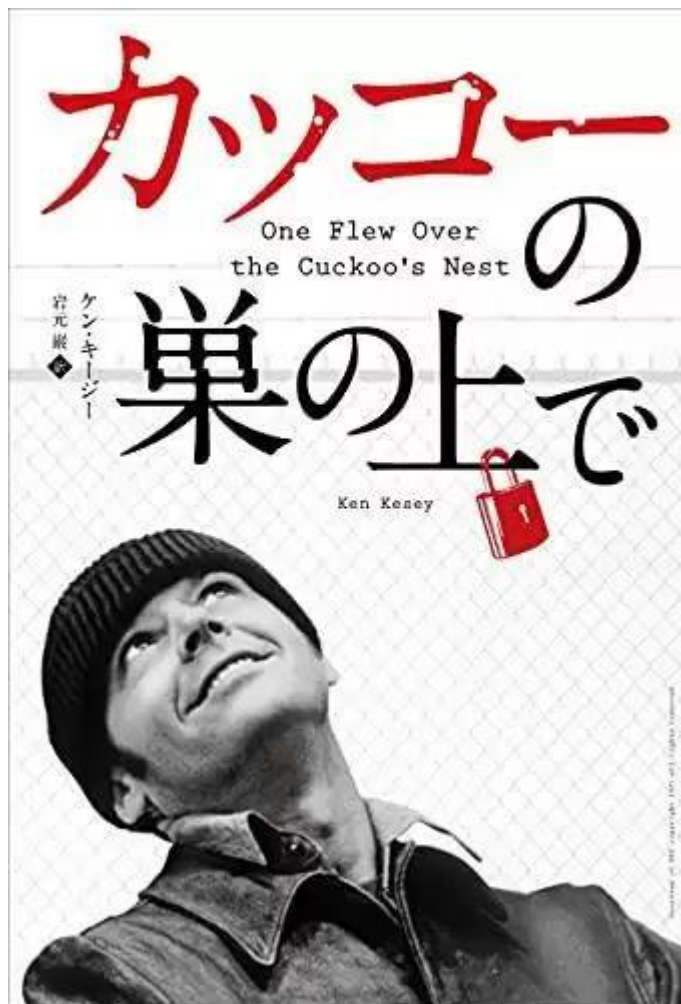
覚醒という言葉は悪くないのだから。

つまり、我々が通常と思っている

事は間違いだらけかも知れない。

もう一本、映画史に残る名作

「カッコーの巣の上で」



1975年アメリカ映画。

これは健常者と精神異常者を

題材しており、私は自宅で

父と観たが、父は、

「精神異常者とされる者は嘘がなく

自然で人間らしく、むしろまともと

思える人間が異常者と考えさせられる

映画」

というように私へ伝えた。

その後ビデオで見直してその通りの

映画だったと記憶している。

誰でも生まれた時から、

親に言葉を教えられているが、

同時に洗脳されている。

本物とは何か？

偽物がなければ本物もない。

本物をみつけるために

世の中の偽物が存在するという

事実に関心を開いてみませんか？

今日の会員ZOOMで、

この話もしたいと思っています。

そして今夜のZOOMは

ヨガスードラ体験です。

映画の件は最新の

波動とは？で朗読しました。

これは一般公開動画なので、

こちらから。

フォーラムの投稿もお待ちしております

おります。

会員ログインはこちらから

↓ ↓ ↓ ↓ ↓

<<https://rife.online/>>

このメールはRIFE.ONLINEフォーラムに登録していただいた会員全員に送らせていただいています。解除は以下のリンクから可能です <XXXX>

2022年7月25日 記

=====